

向日市のまちづくりに関する市民アンケート

結果報告

令和2年3月
向日市

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 性別	2
問2 年齢	2
問3 居住地	3
問4 居住歴	3
問5 居住地を向日市に決めた理由	4

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 向日市の住み心地	5
問7 良いと思う点	7
問8 良くないと思う点	9
問9 定住意向	11
問10 雇用・経済の活発化	13
問11 少子化対策	15
問12 安心・安全	17
問13 まちの将来	19

■ 施策の満足度・重要度について

問14 満足度	21
重要度	23

■ ほかに個別の事業に関する設問について

問15 お住いの地域の土地利用	27
問16 賑わいを創出するための土地利用	28
問17 新庁舎展望レストラン運営形態	29
問18 新庁舎展望レストラン営業時間	31

■ 自由意見

自由意見	33
------	----

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

まちづくりに関して、市民の皆さまが日頃感じておられることを把握し、施策の推進に反映する。

2 調査方法

調査名称	向日市のまちづくりに関する市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18 歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000 件
実施期間	令和元年 7 月 16 日から 7 月 31 日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は 725 件、有効回収率 36.3%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計値が 100%にならない場合があります。
- ・「2 つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

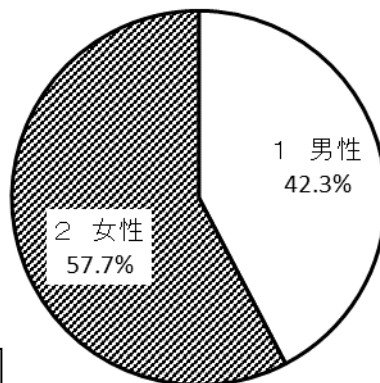
5 調査項目

回答者属性	性別、年齢、居住地、居住歴、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安全・安心について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の重要度・満足度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
	ほか個別事業に関すること ○土地利用 ○新庁舎展望レストラン
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 男性	2 女性
------	------



n = 725

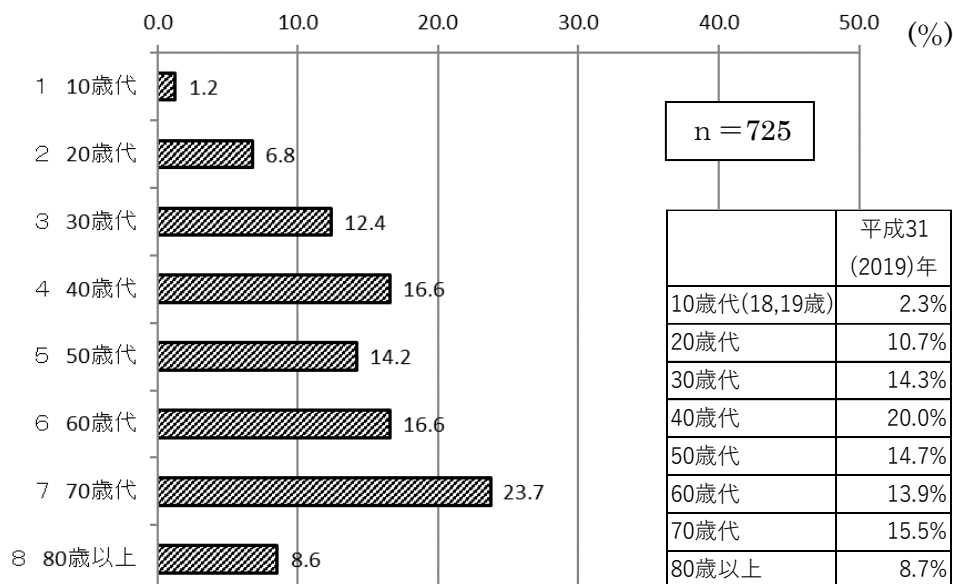
【女性からの回答がやや多い】

○回答者の男女比率は、女性がやや多くなっていますが、差はわずかで、ほぼ半数ずつになっています。

※向日市現状(H31)は男 48.0%、女 52.0%。

問2 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（令和元年7月1日現在でお答えください）

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代
2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上
3 30歳代	6 60歳代	



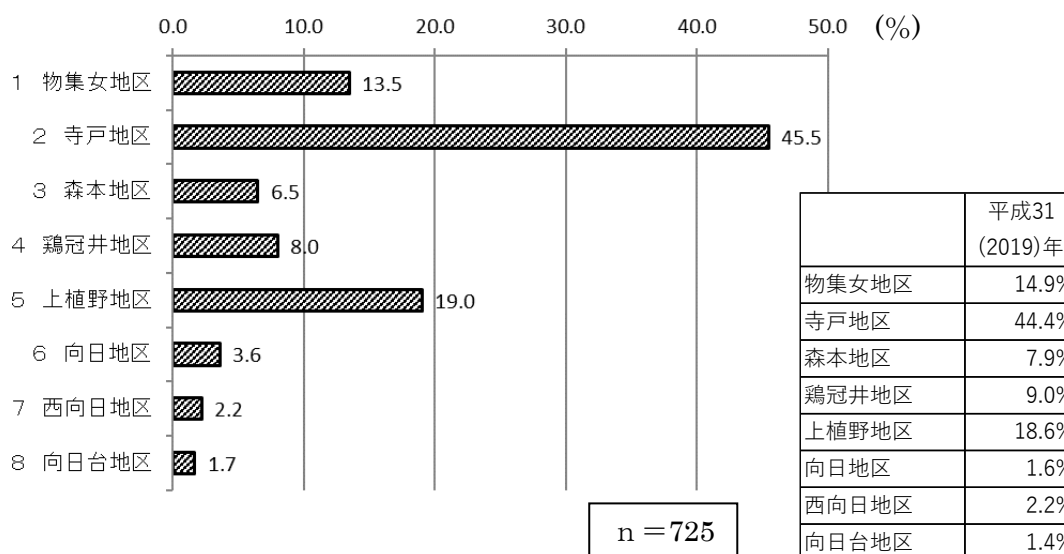
【60歳以上で約半数を占める】

○年代別にみると、70歳代が23.7%と最も高い比率を占め、60歳代以上が48.9%とほぼ半数の回答を占めています。

○向日市現状(H31)の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問3 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	

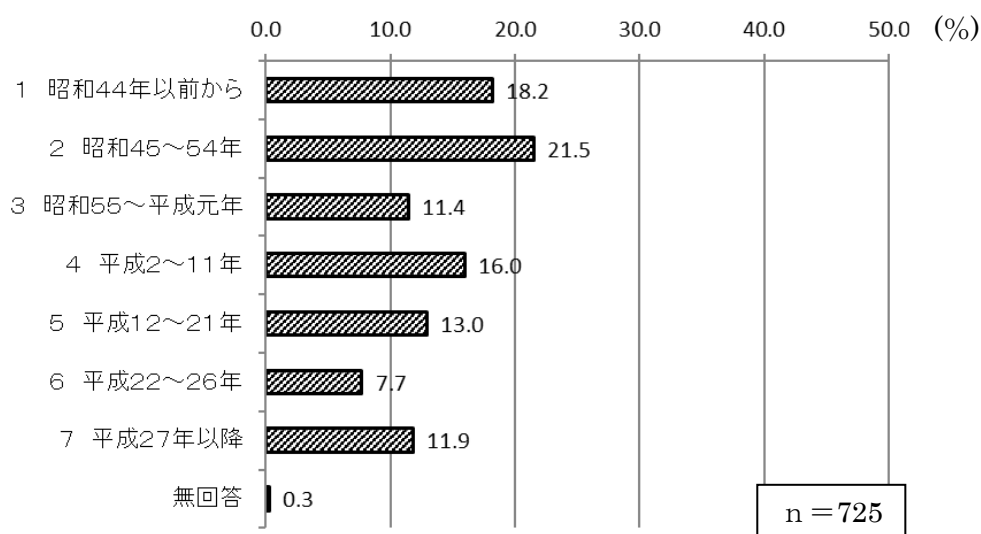


【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（H31）に近い回答が得られています。

問4 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和44年以前から	5 平成12～21年
2 昭和45～54年	6 平成22～26年
3 昭和55～平成元年	7 平成27年以降
4 平成2～11年	

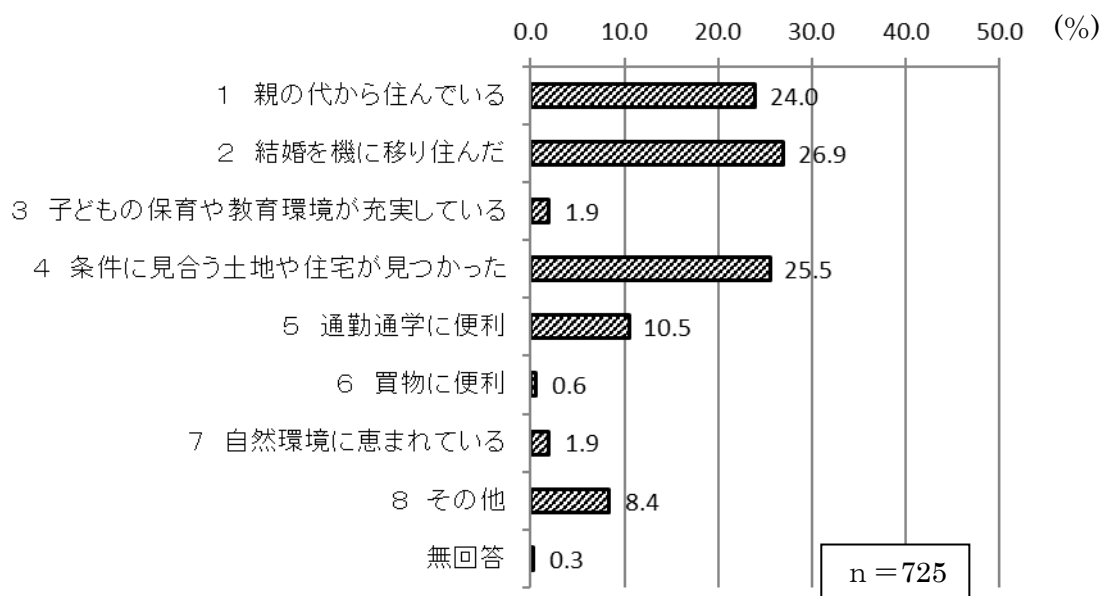


【おおよそ30年以上居住する回答者が半数】

○平成元年以前（30年以前）から居住する回答者が51.2%と過半数を占めています。居住歴が5年未満（平成27年以降）からの回答も11.9%得られています。

問5 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

1 親の代から住んでいる 2 結婚を機に移り住んだ 3 子どもの保育や教育環境が充実している 4 条件に見合う土地や住宅が見つかった 5 通勤通学に便利 6 買物に便利 7 自然環境に恵まれている 8 その他（具体的に	
--	----------------------



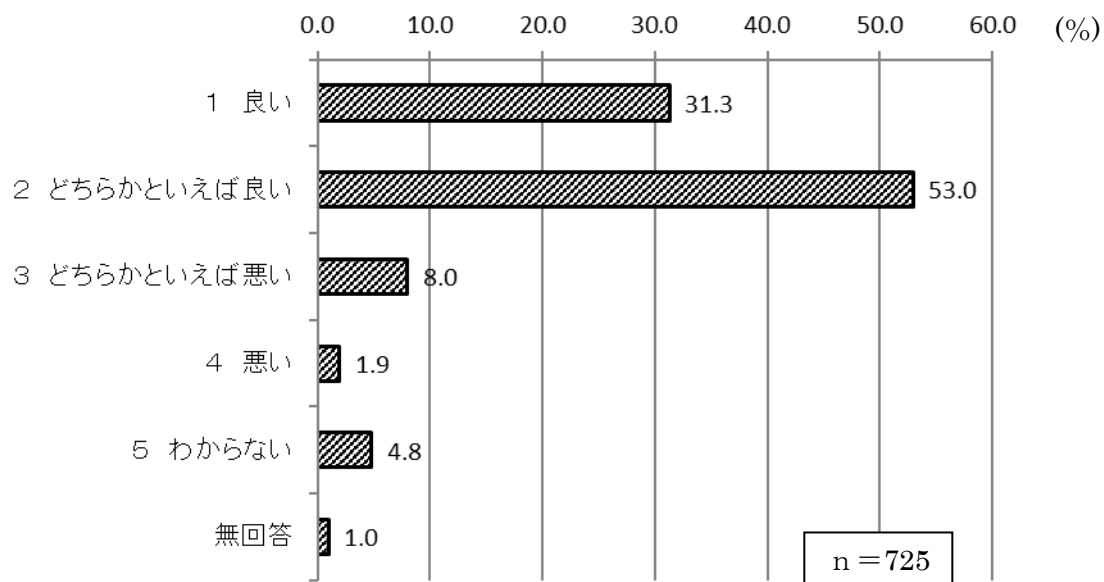
【結婚、住宅・用地の確保などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「結婚を機に移り住んだ」が 26.9%と多く、以下、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」「親の代から住んでいる」「通勤通学に便利」が続いています。

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

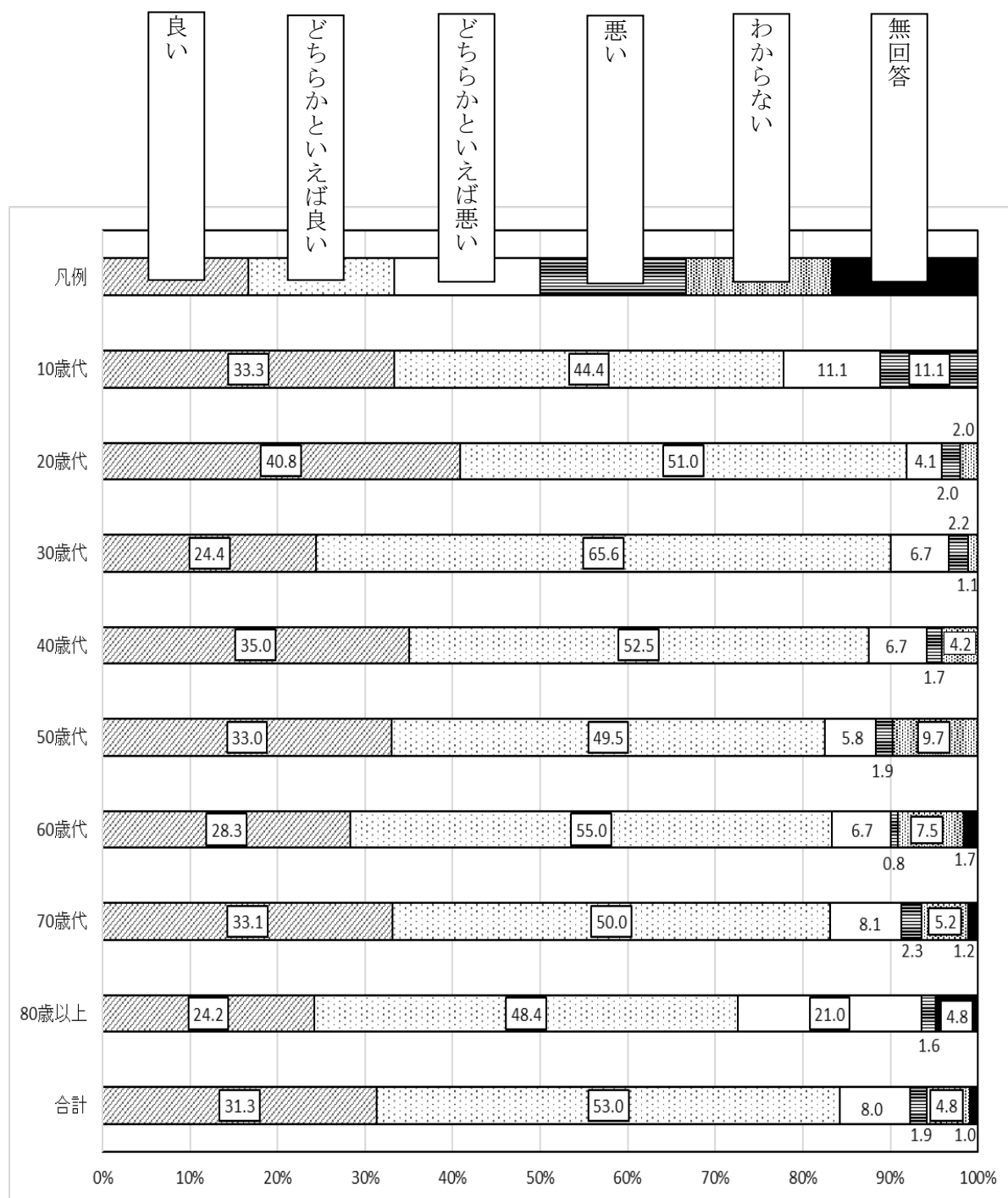
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 向日市の住み心地については、「良い」が31.3%、「どちらかといえば良い」が53.0%で、合わせて84.3%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は1.9%、「どちらかといえば悪い」も8.0%にとどまっています。

【年代別集計】

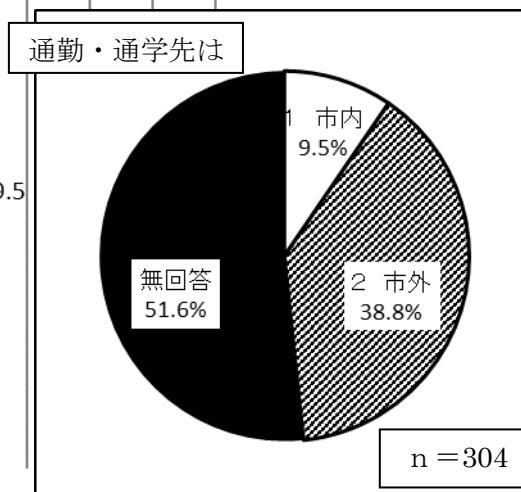
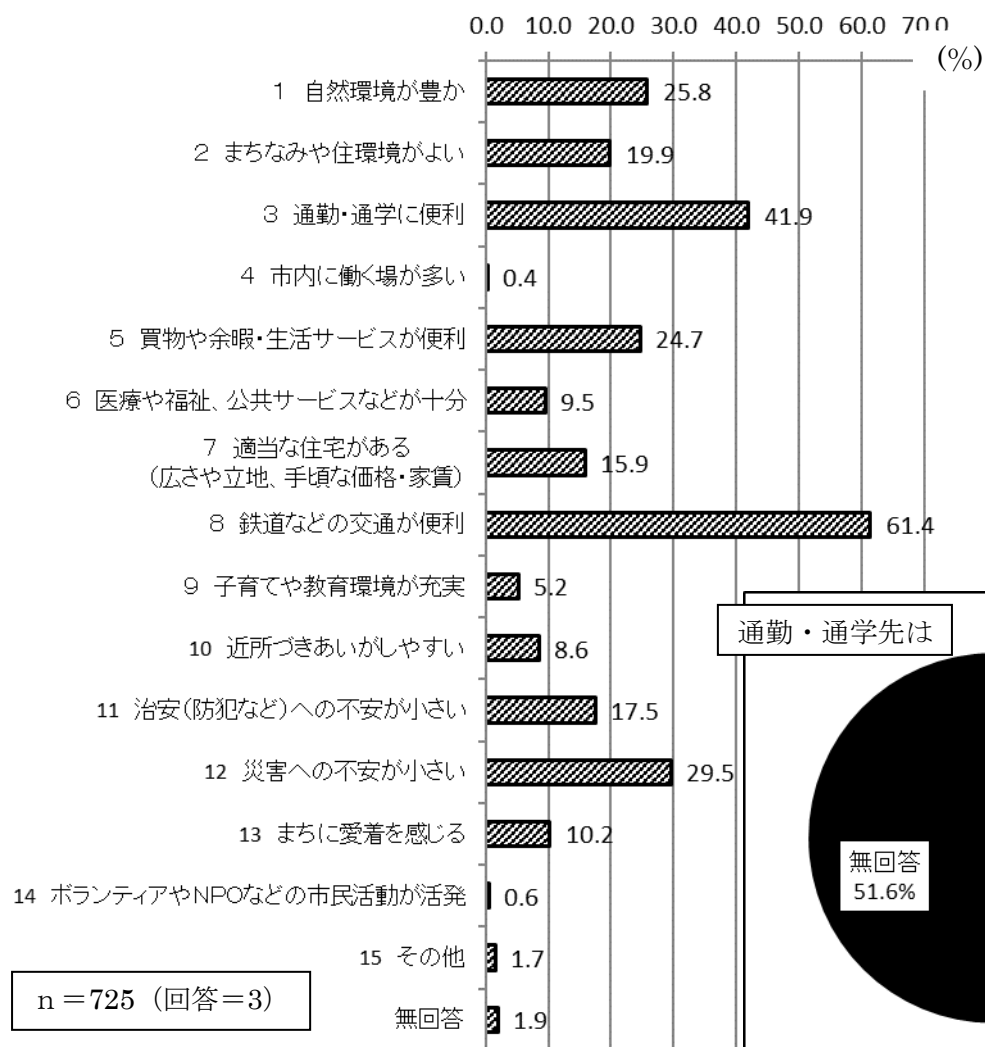


【住みよいと評価する意見が8割程度】

○年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で40.8%と最も多くなっています。
 ○「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、80歳以上を除く全ての年代において8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問7 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境が豊か	
2 まちなみや住環境がよい	
3 通勤・通学に便利（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場が多い	
5 買物や余暇・生活サービスが便利	
6 医療や福祉、公共サービスなどが十分	
7 適当な住宅がある（広さや立地、手頃な価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が便利	
9 子育てや教育環境が充実	
10 近所づきあいがしやすい	
11 治安（防犯など）への不安が小さい	
12 災害への不安が小さい	
13 まちに愛着を感じる	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が活発	
15 その他（具体的に	



【良い点は利便性】

- 住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が 61.4%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が 41.9%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。
- 以下、「災害への不安が小さい」(29.5%)、「自然環境が豊か」(25.8%) がそれぞれ 3 割程度の意見を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 66.7%	通勤・通学に便利 55.6%	自然環境が豊か 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	鉄道などの交通が便利 55.1%	通勤・通学に便利 44.9%	買い物や余暇・生活サービスが便利 36.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	鉄道などの交通が便利 68.9%	通勤・通学に便利 52.2%	買い物や余暇・生活サービスが便利 30.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	鉄道などの交通が便利 60.8%	通勤・通学に便利 47.5%	買い物や余暇・生活サービスが便利 28.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	鉄道などの交通が便利 69.9%	通勤・通学に便利 55.3%	まちなみや住環境が良い 23.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	鉄道などの交通が便利 57.5%	災害への不安が小さい 36.7%	通勤・通学に便利 35.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	鉄道などの交通が便利 57.6%	災害への不安が小さい 43.0%	自然環境が豊か 35.5%

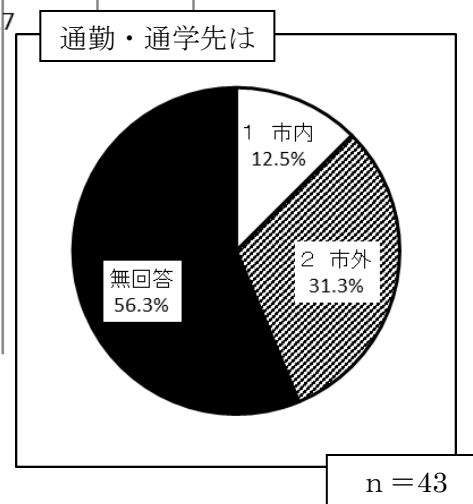
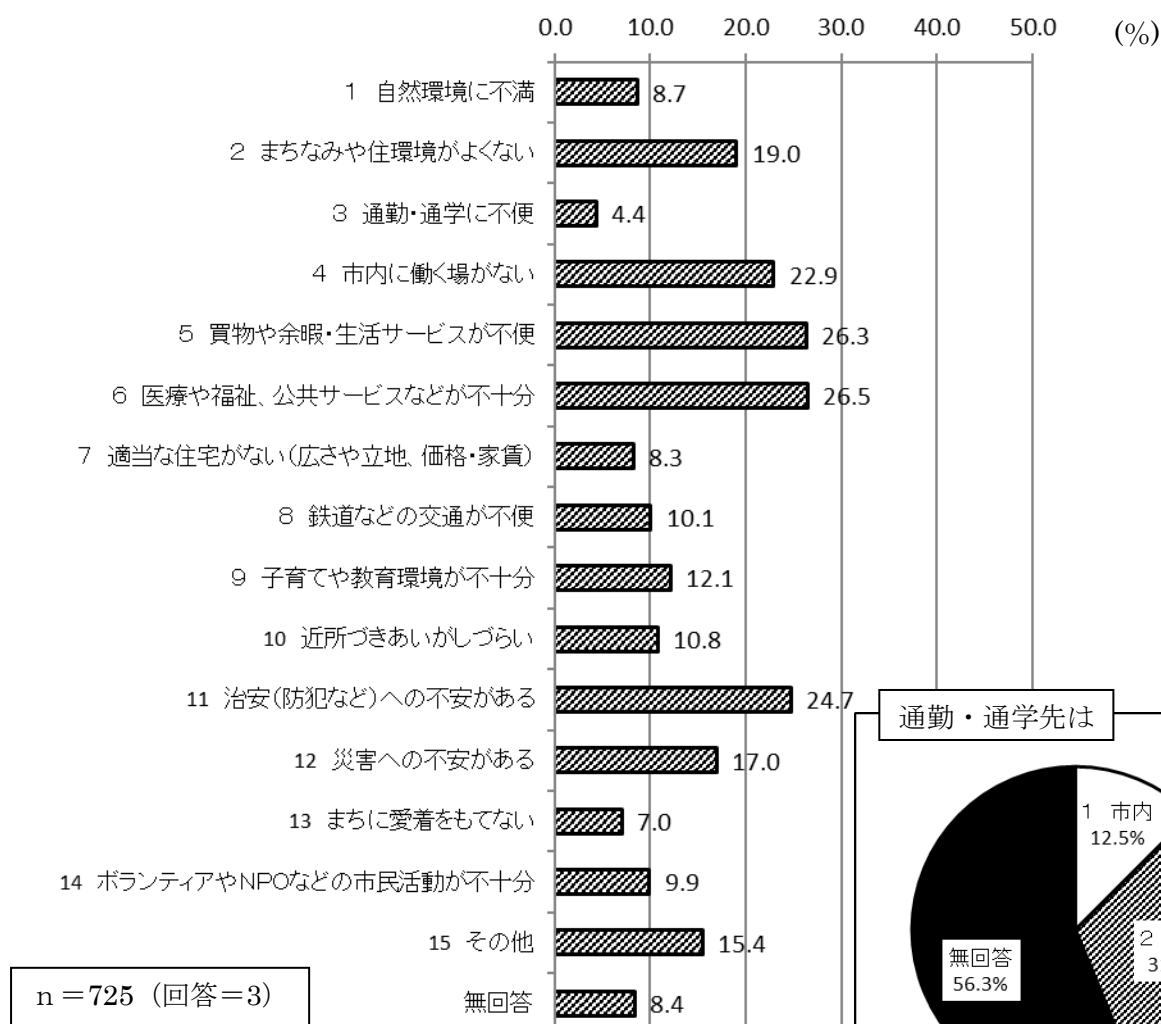
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	鉄道などの交通が便利 59.7%	災害への不安が小さい 45.2%	通勤・通学に便利 35.5%

【全ての年代で「鉄道などの利便性」が第 1 位】

- 年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第 1 位となっています。
- 10～50 歳代で「通勤・通学に便利」が第 2 位、60～80 歳以上では「災害への不安が小さい」が第 2 位になっているほか、20～40 歳代で「買い物や余暇・生活サービスが便利」が第 3 位、10 歳代及び 70 歳代で「自然環境が豊か」が第 3 位、50 歳代で「まちなみや住環境が良い」が第 3 位となっています。

問8 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境に不満	
2 まちなみや住環境がよくない	
3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場がない	
5 買物や余暇・生活サービスが不便	
6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分	
7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が不便	
9 子育てや教育環境が不十分	
10 近所づきあいがしづらい	
11 治安（防犯など）への不安がある	
12 災害への不安がある	
13 まちに愛着をもてない	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分	
15 その他（具体的に	



【「医療・福祉・公共サービス」「買物や余暇・生活サービス」「治安」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」が 26.5%と最も多くの意見を集め、以下「買物や余暇・生活サービスが不便」(26.3%)、「治安(防犯など)への不安がある」(24.7%)、「市内に働く場がない」(22.9%)の3項目が2割以上となっています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 44.4%	ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分 33.3%	治安(防犯など)への不安がある 22.2% 災害への不安がある 22.2%

	第1位	第2位
20 歳代	市内に働く場がない 26.5%	治安(防犯など)への不安がある 26.5% 買物や余暇・生活サービスが不便 18.4%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	治安(防犯など)への不安がある 40.0%	子育てや教育環境が不十分 31.1%	その他 24.4%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 29.2%	治安(防犯など)への不安がある 29.2%	子育てや教育環境が不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 25.2%	市内に働く場がない 23.3% 治安(防犯など)への不安がある 23.3%

	第1位	第2位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 35.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 35.0% 災害への不安がある 23.3%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 26.7%	市内に働く場がない 26.2%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.3%	買物や余暇・生活サービスが不便 30.6%	市内に働く場がない 27.4%

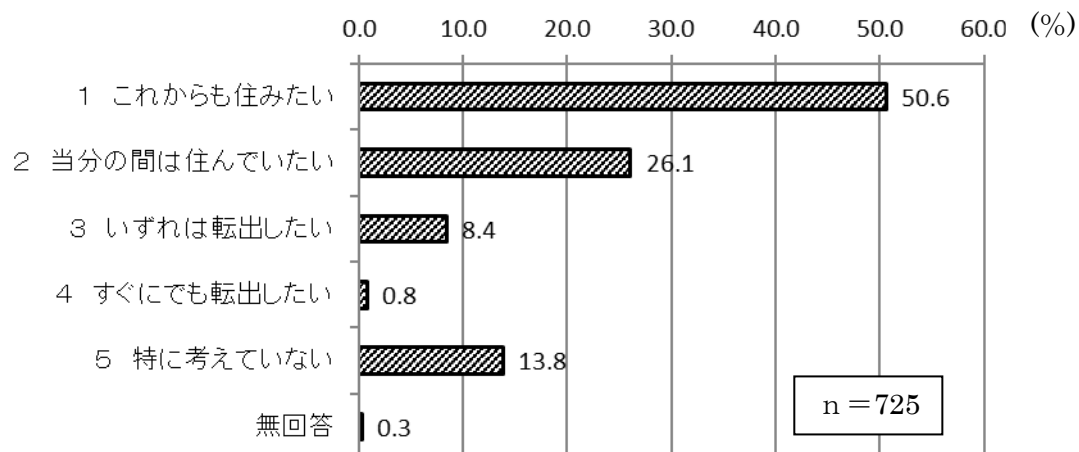
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○順位は異なりますが、全ての年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」「治安(防犯など)への不安がある」の3項目が上位を占めています。

○20 歳代では「市内に働く場がない」と「治安(防犯など)への不安がある」が同率一位となっています。

問9 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

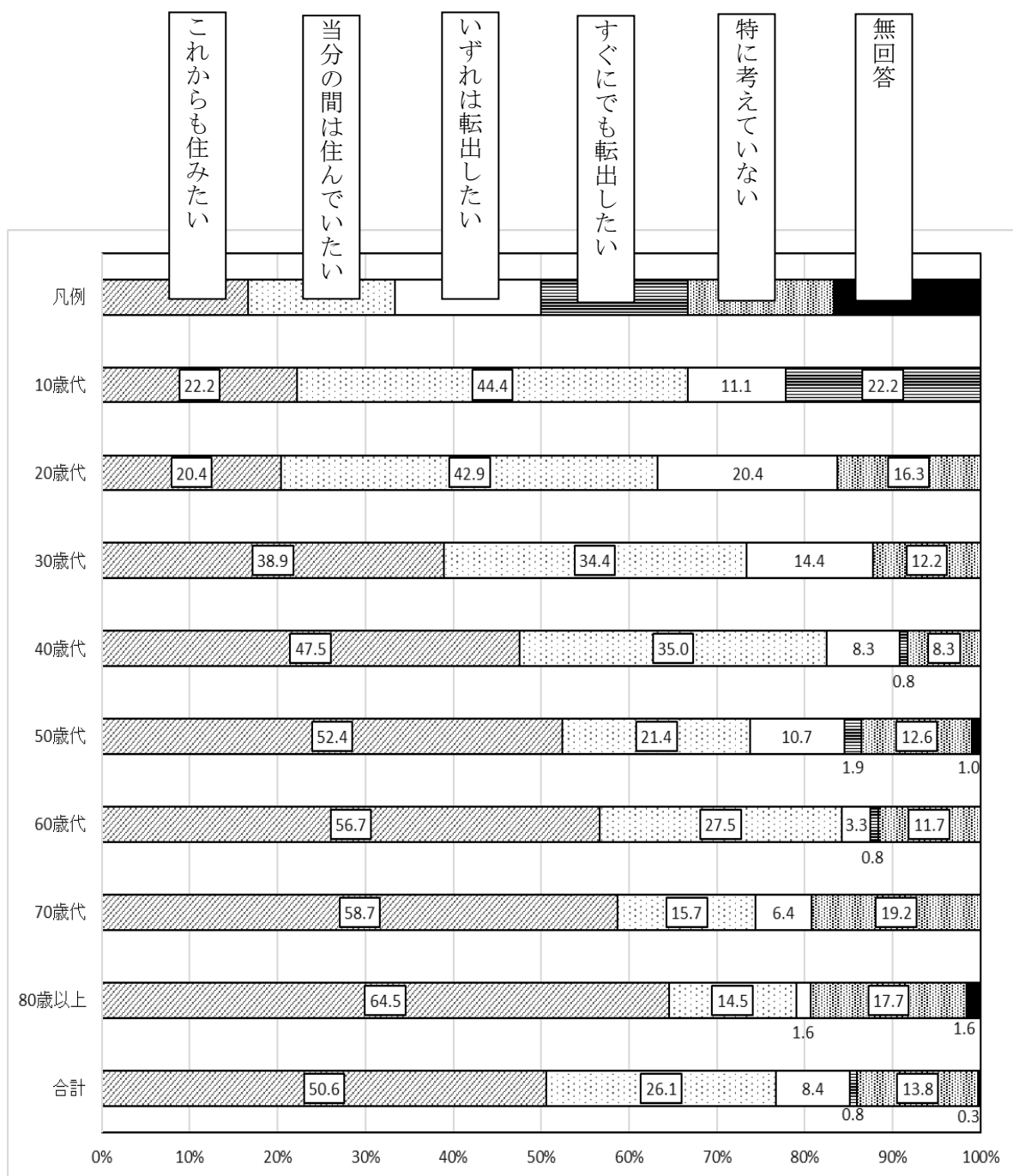
- 1 これからも住みたい
- 2 当分の間は住んでいたい
- 3 いずれは転出したい
- 4 すぐにでも転出したい
- 5 特に考えていない



【8割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」(50.6%)と「当分の間は住んでいたい」(26.1%)を合わせて、76.7%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は併せて9.2%にとどまっています。

【年代別集計】

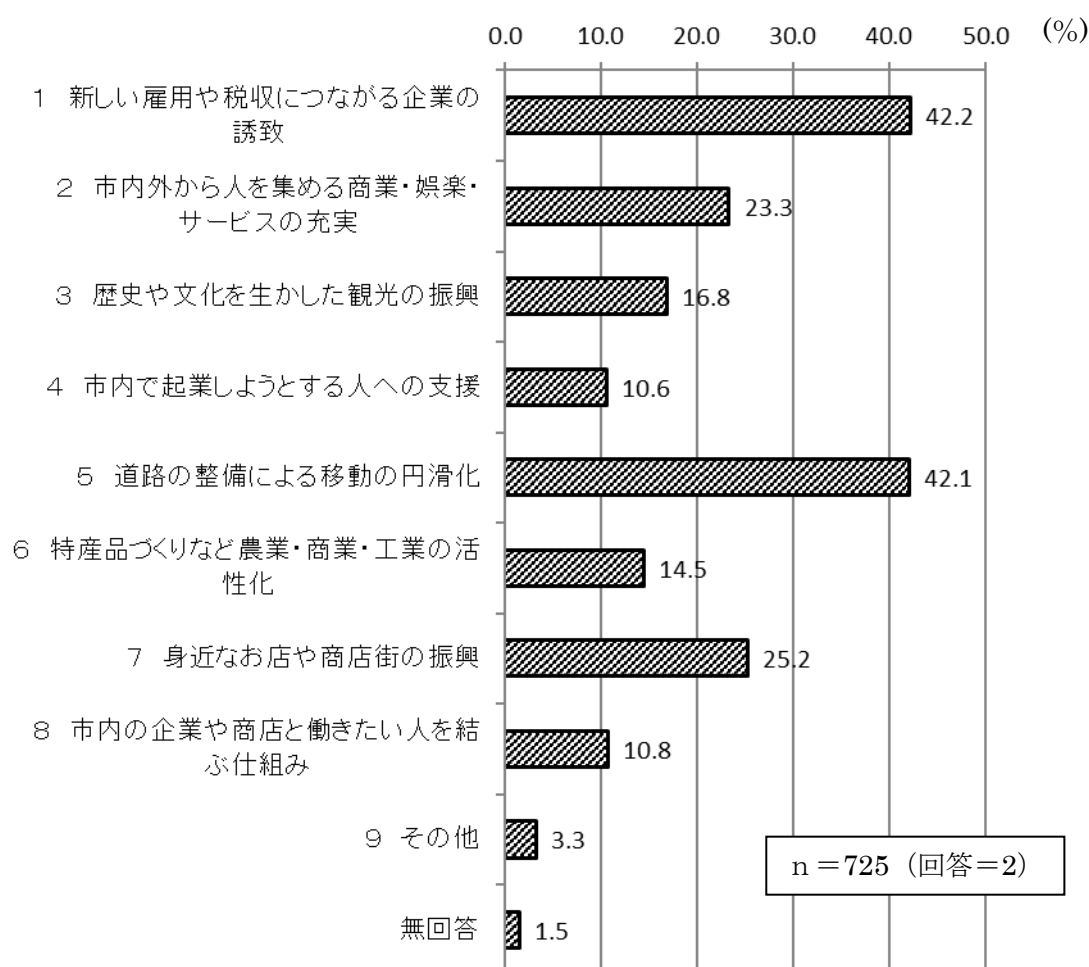


【ほぼすべての世代で7割以上が定住意向を示す】

- 年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は10～20歳代を除くすべての世代で7割以上となっています。
- 最も低い20歳代でも定住意向は63.3%に達しており、「いずれは転出したい」「すぐにも転出したい」という転出意向も20.4%にとどまっています。

問10 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に重視するものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

1	新しい雇用や税収につながる企業の誘致	
2	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実	
3	歴史や文化を生かした観光の振興	
4	市内で起業しようとする人への支援	
5	道路の整備による移動の円滑化	
6	特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化	
7	身近なお店や商店街の振興	
8	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み	
9	その他（具体的に	）



【「企業誘致」「移動の円滑化」が上位項目】

○雇用や経済の活性化のためには、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(42.2%)、「道路の整備による移動の円滑化」(42.1%) それぞれ4割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 55.6%	身近なお店や商店街の振興 44.4%	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み 22.2%

	第 1 位	第 2 位
20 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%
		道路の整備による移動の円滑化 32.7%

	第 1 位	第 2 位
30 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 38.9%	道路の整備による移動の円滑化 38.9%
		市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 47.5%	道路の整備による移動の円滑化 35.8%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	道路の整備による移動の円滑化 48.5%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.8%	身近なお店や商店街の振興 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 42.5%	道路の整備による移動の円滑化 41.7%	身近なお店や商店街の振興 30.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	道路の整備による移動の円滑化 45.9%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.7%	身近なお店や商店街の振興 37.1%

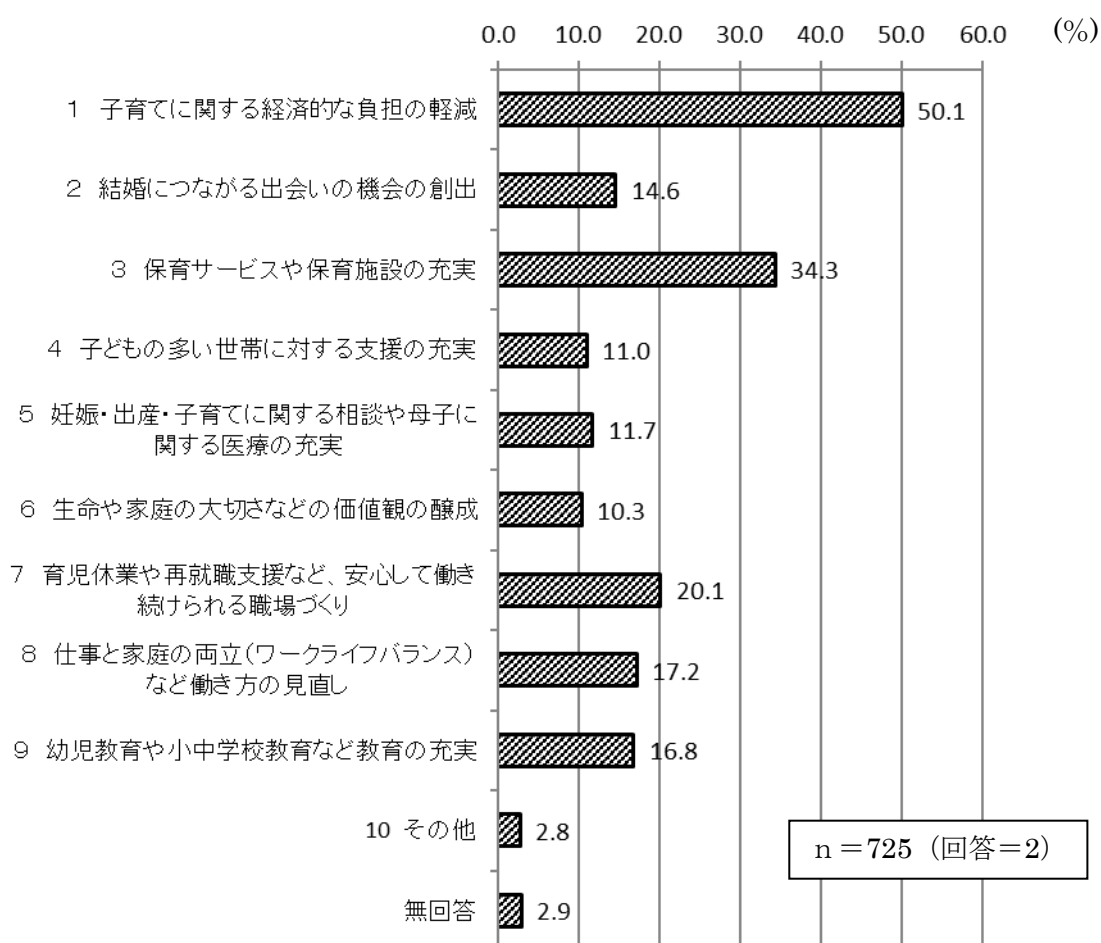
	第 1 位	第 2 位
80 歳以上	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 50.0%	道路の整備による移動の円滑化 50.0%
		身近なお店や商店街の振興 27.4%

【各年代とも上位項目は同様の傾向も、第 1 位項目では差異】

○年代別にみると、各年代とも全体で上位の「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」「道路の整備による移動の円滑化」の 3 項目に、幅広い年代で選ばれた「身近なお店や商店街の振興」を加えた項目が上位項目となっています。

問 1 1 少子化に歯止めをかけるため、向日市では特にどんな取組みに力を入れるべきだとお考えですか。特に大切と思われるものを2つ選び、右欄にご記入ください。

1 子育てに関する経済的な負担の軽減 2 結婚につながる出会いの機会の創出 3 保育サービスや保育施設の充実 4 子どもの多い世帯に対する支援の充実 5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実 6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成 7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実 10 その他（具体的に	
---	---



【子育ての経済的な負担の軽減、保育サービスや環境の向上に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」を選択する回答者が多く、50.1%に達しています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(34.3%) など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位		
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 44.4%	保育サービスや保育施設の充実 44.4%	妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実 44.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 71.4%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 60.0%	保育サービスや保育施設の充実 45.6%	仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 21.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 59.2%	保育サービスや保育施設の充実 28.3%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 19.2%
			幼児教育や小中学校教育など教育の充実 19.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 49.5%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 20.4%
			仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 20.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 50.0%	保育サービスや保育施設の充実 35.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 26.7%

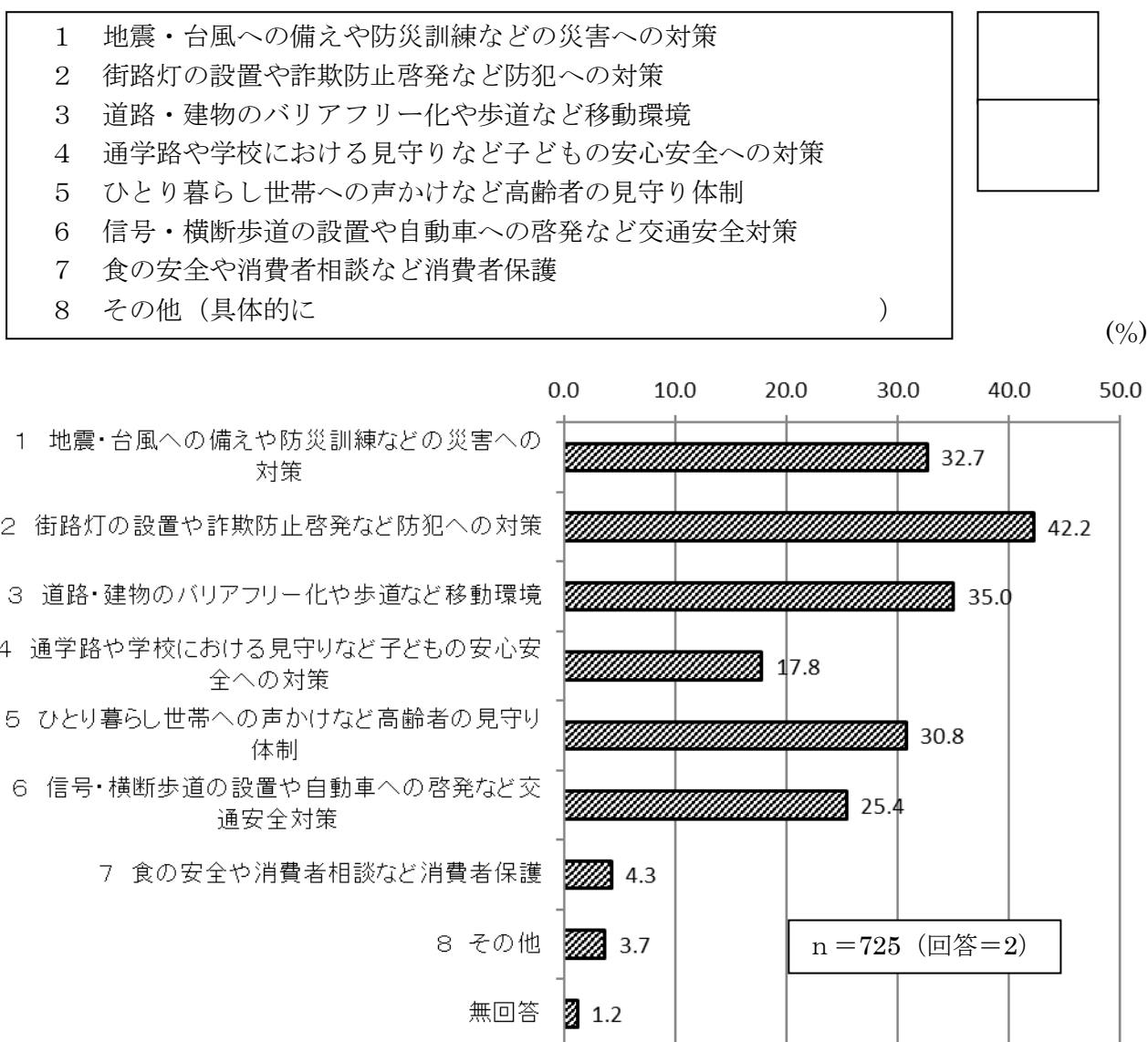
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 36.0%	保育サービスや保育施設の充実 30.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 41.9%	保育サービスや保育施設の充実 24.2%	結婚につながる出会いの機会の創出 21.0%

【年代別にみても、概ね全体と同様の傾向】

○年代別にみると、全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第 1 位、「保育サービスや保育施設の充実」が第 2 位となっており、これに続く「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」が 20、50～70 歳代で第 3 位となっており、全体と年代別で同様の傾向を示しています。

問 1 2 あなたが暮らしている地域の安心・安全について、不安に思うことはありますか。
特に不安に思うことを2つまで選び、右欄にご記入ください。



【多様な分野への関心】

○「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」の42.2%をはじめ、「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」(35.0%)、「地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策」(32.7%)、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(30.8%)の4項目が3割以上となっており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 44.4%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 33.3%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 22.2% 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 22.2% ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 22.2% 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 44.9%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 40.8%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 30.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.1%	通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 40.0%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 38.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 45.8%	信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 34.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.5% 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 49.5%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 43.7%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.7%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 41.7%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 37.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 39.0%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 33.7%

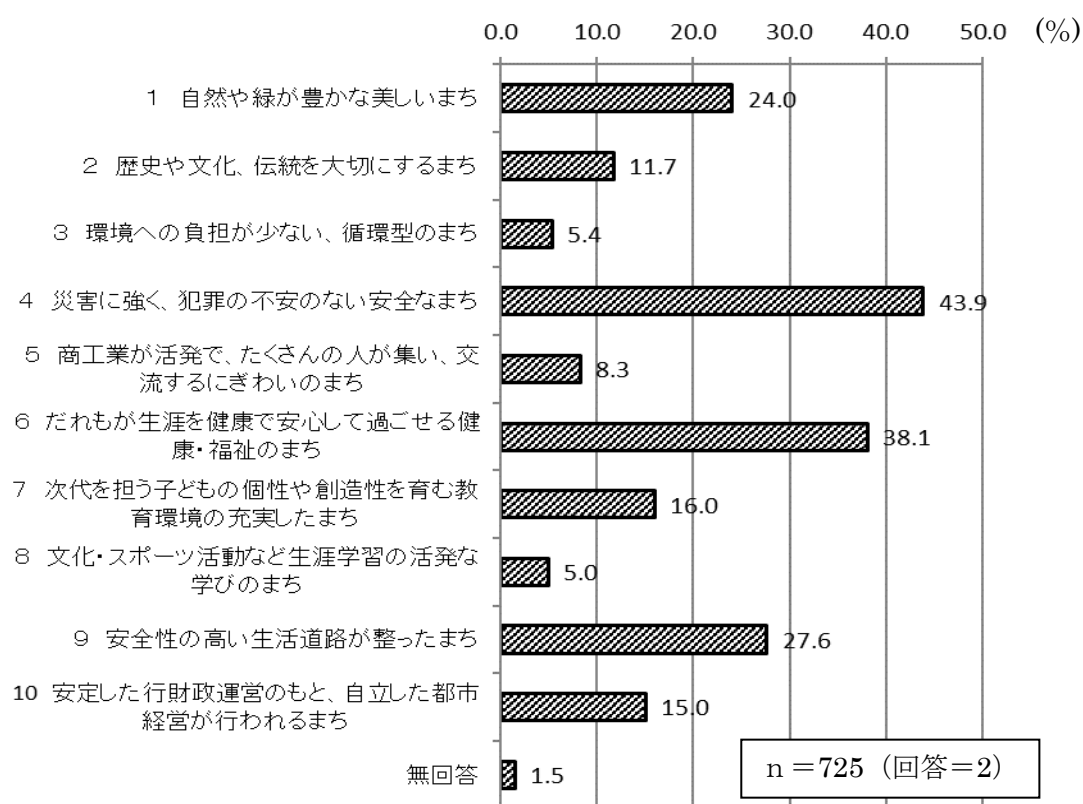
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 56.5%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 35.5%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.3%

【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

- 年代別にみると、10～70 歳代で「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」が第 1 位となっております。
- 「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者見守り体制」が 70 歳代で第 2 位、80 歳以上で第 1 位となっており、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問13 今後、向日市がどんなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 自然や緑が豊かな美しいまち
- 2 歴史や文化、伝統を大切にするまち
- 3 環境への負担が少ない、循環型のまち
- 4 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち
- 5 商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち
- 6 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち
- 7 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち
- 8 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち
- 9 安全性の高い生活道路が整ったまち
- 10 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」(43.9%)が第1位で、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(38.1%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(27.6%)と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位		第3位
10 歳代	自然や緑が豊かな美しいまち 33.3%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 33.3%	歴史や文化、伝統を大切にす まち 22.2%
			商工業が活発で、たくさんの人 が集い、交流するにぎわいのま ち 22.2%
			安定した行財政運営のもと、自 立した都市経営が行われるま ち 22.2%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 44.9%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 30.6%	次代を担う子どもの個性 や創造性を育む教育環境 の充実したまち 28.6%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 43.3%	次代を担う子どもの個性 や創造性を育む教育環境 の充実したまち 42.2%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 26.7%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 41.7%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 40.0%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 33.3%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 42.7%	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 39.8%	自然や緑が豊かな美しい まち 29.1%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 43.3%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 40.0%	自然や緑が豊かな美しい まち 25.0%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 48.8%	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 44.8%	自然や緑が豊かな美しい まち 25.6%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 54.8%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 41.9%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 30.6%

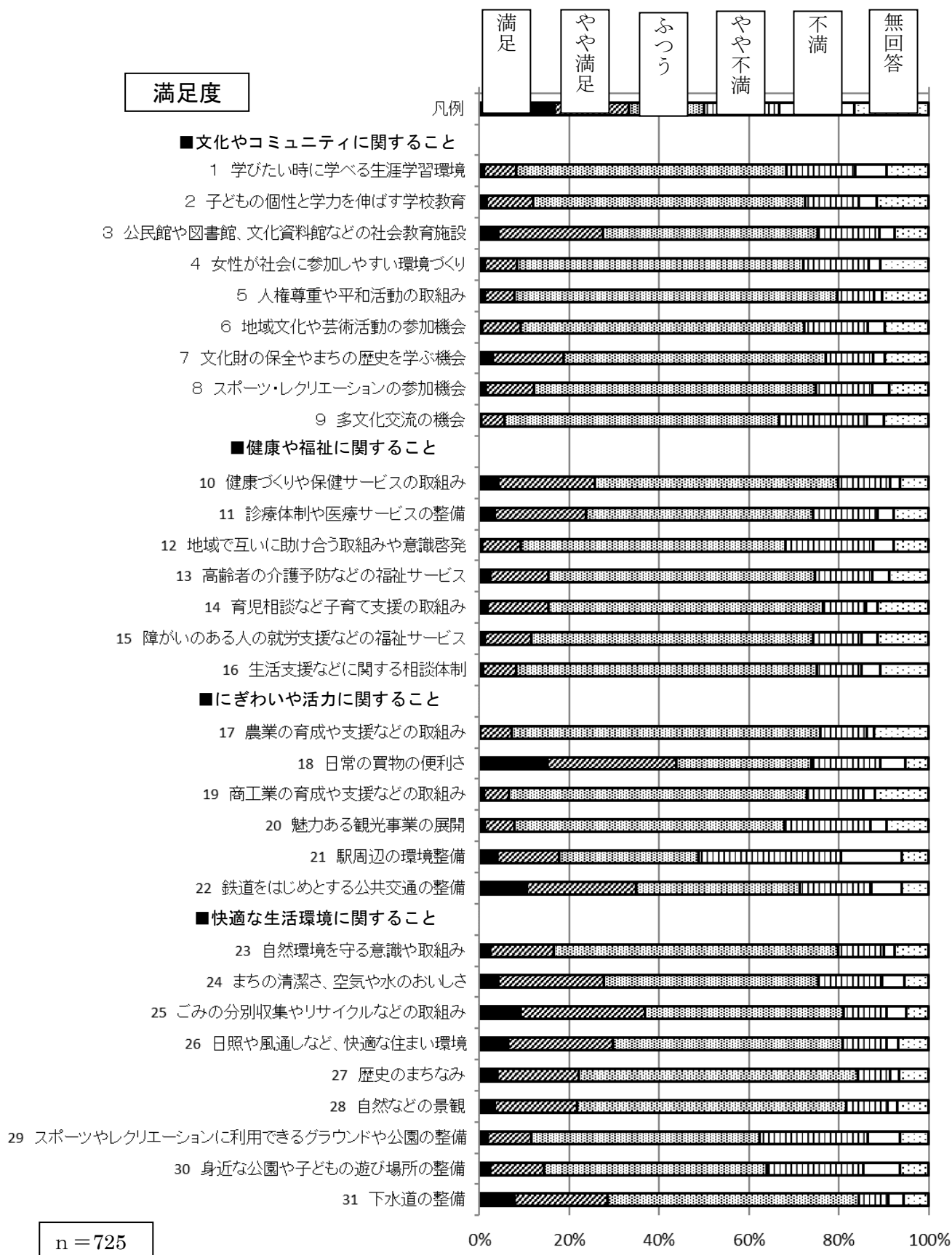
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

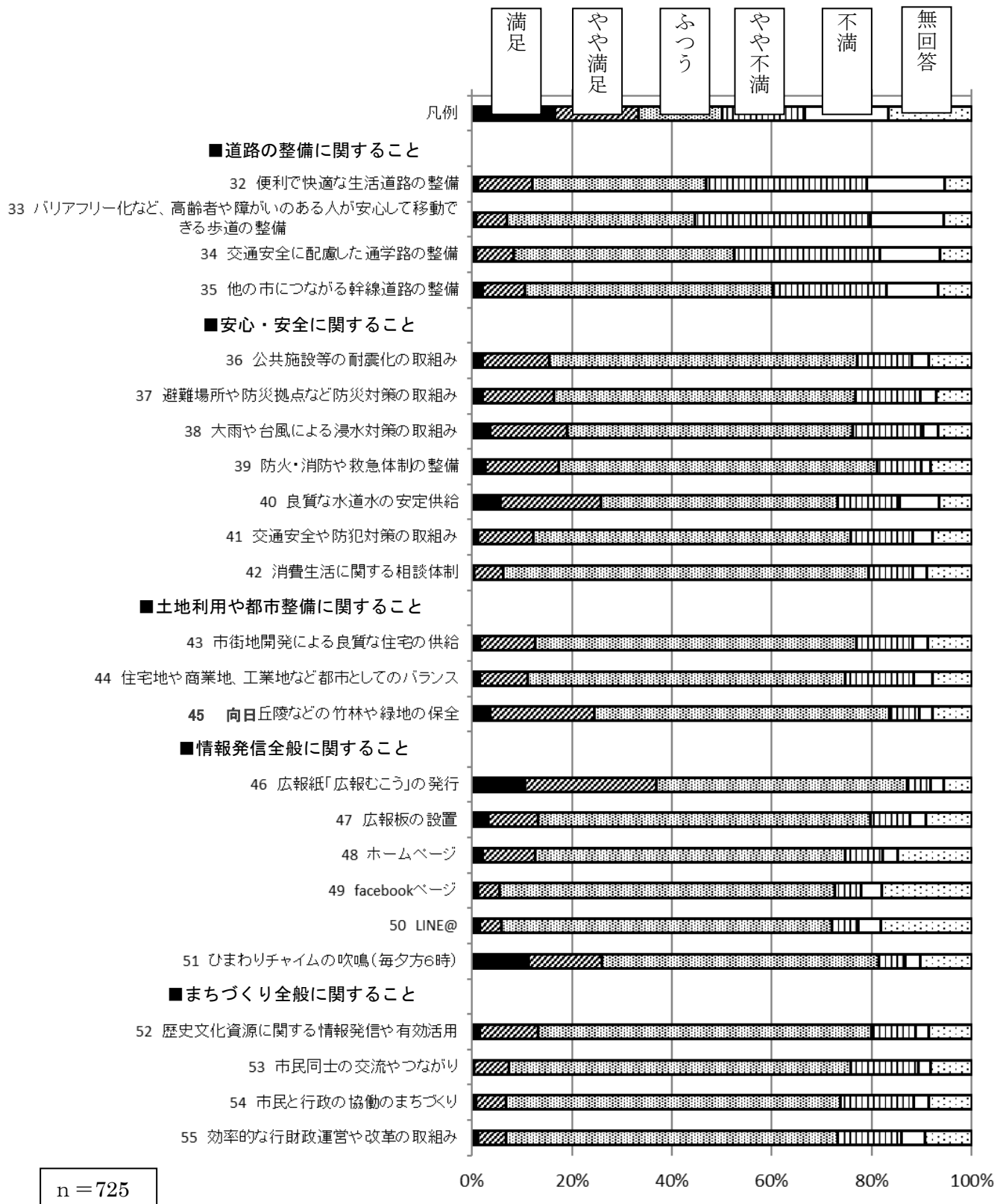
○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」の2項目が上位を占めています。

○20、30 歳代では「次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち」が、10、50～70 歳では「自然や緑が豊かな美しいまち」が上位に入っており、年代によって関心をもつ分野が変化しています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 1 4 あなたは、まちの住みごちや行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





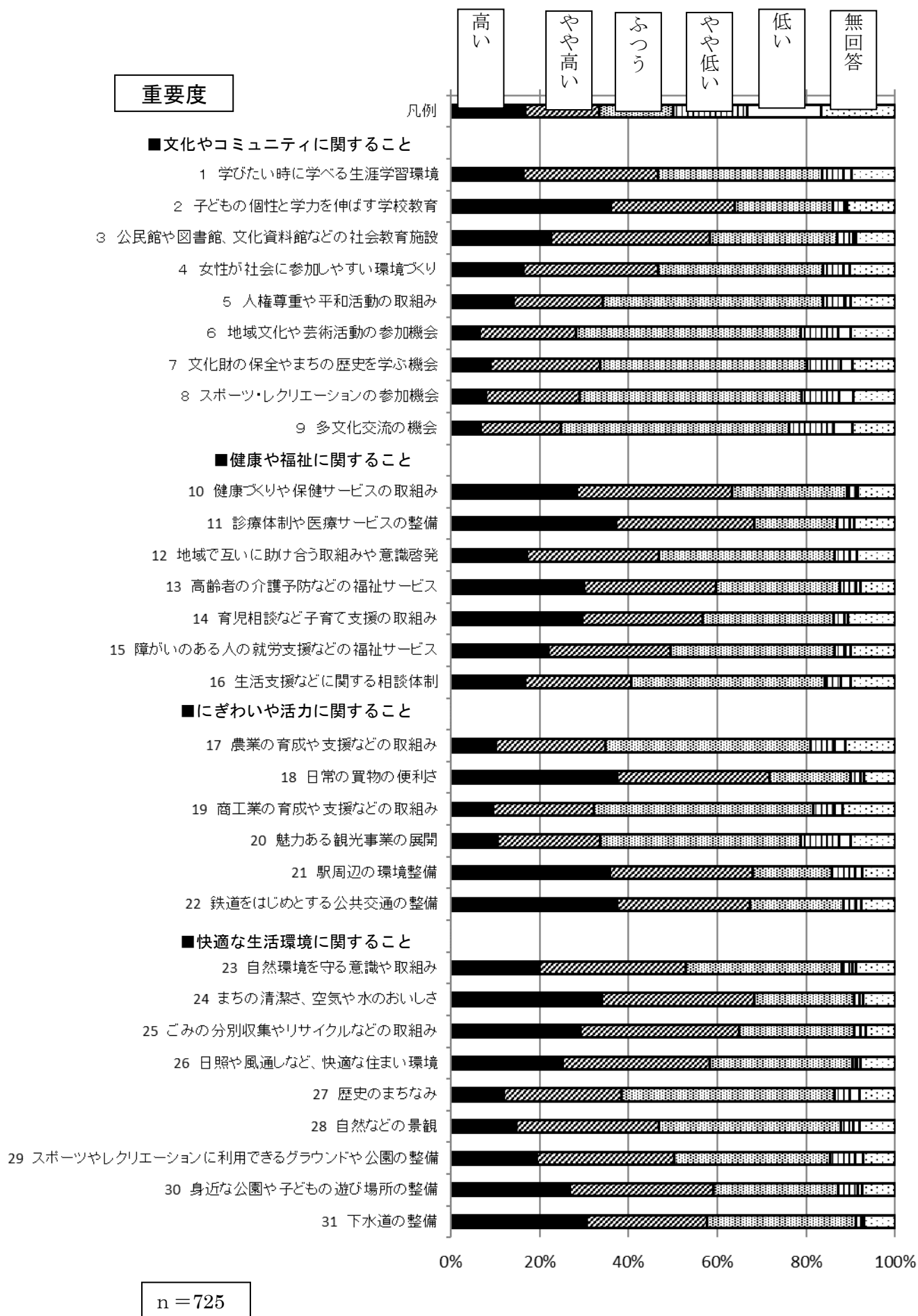
【満足度上位】

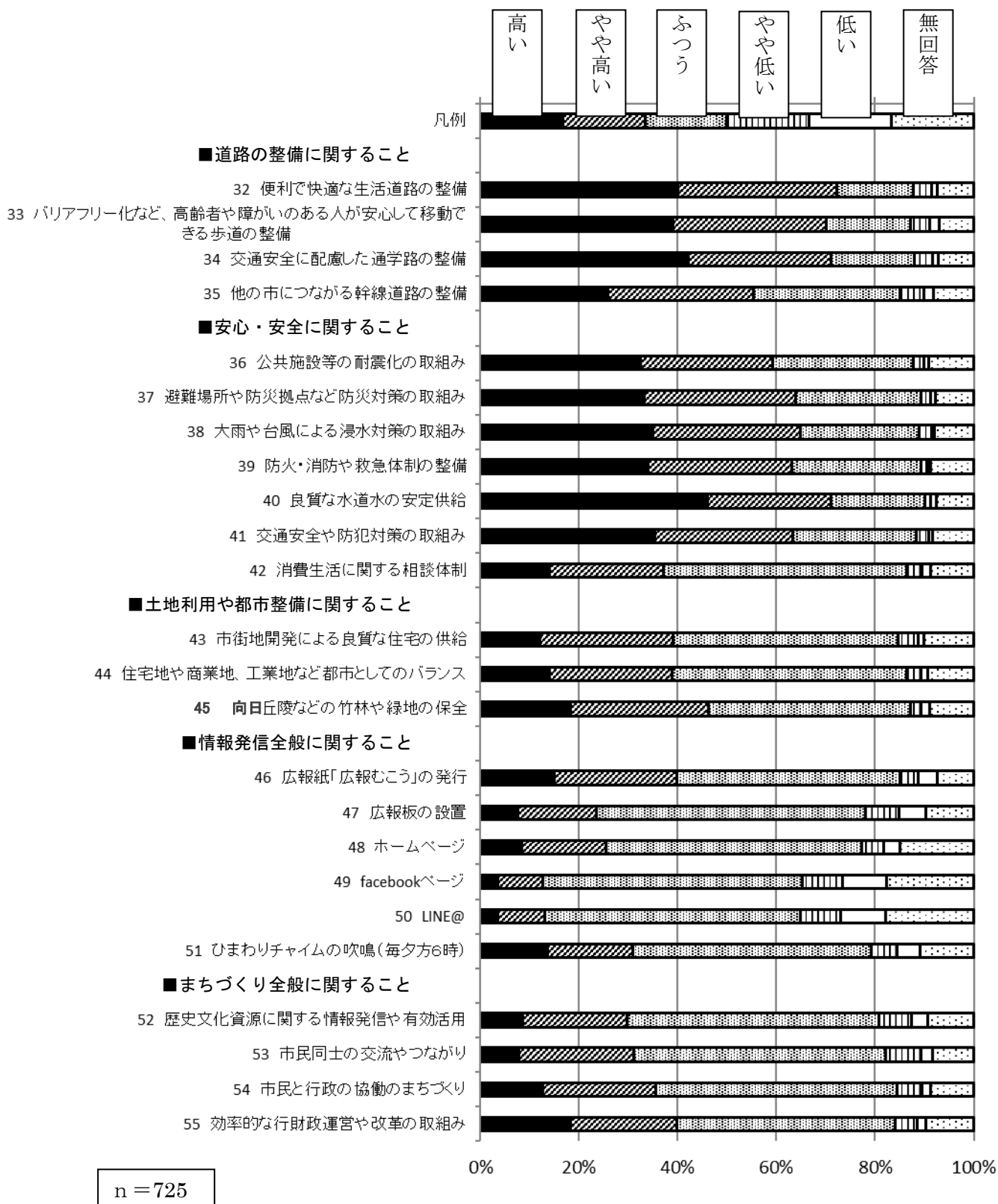
選択項目	係数ポイント
46 広報紙「広報むこう」	3.40
18 日常の買物の便利さ	3.34
51 ひまわりチャイム	3.29
25 ごみ分別・リサイクル	3.29
31 下水道の整備	3.24

【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
33 安心して移動できる歩道整備	2.40
32 便利で快適な生活道路	2.47
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53
21 駅周辺の環境整備	2.61
35 他市につながる幹線道路の整備	2.67

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。





【重要度上位】

選択項目	係数ポイント
40 良質な水道水の安定供給	4. 2 3
34 交通安全に配慮した通学路の整備	4. 1 5
32 便利で快適な生活道路	4. 1 5
18 日常の買物の便利さ	4. 1 3
11 診療・医療サービスの整備	4. 1 1

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
50 LINE@	2. 8 8
49 facebook ページ	2. 8 8
9 多文化交流の機会	3. 1 4
47 広報板の設置	3. 1 5
6 地域文化や芸術活動の参加機会	3. 2 3

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.78	3.61
2 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.93	4.08
3 公民館や図書館、文化資料館などの社会教育施設	3.12	3.84
4 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.88	3.62
5 人権尊重や平和活動の取組み	2.97	3.45
6 地域文化や芸術活動の参加機会	2.87	3.23
7 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.06	3.33
8 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.93	3.24
9 多文化交流の機会	2.77	3.14

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
10 健康づくりや保健サービスの取組み	3.15	3.97
11 診療体制や医療サービスの整備	3.06	4.11
12 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.79	3.63
13 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.97	3.91
14 育児相談など子育て支援の取組み	3.02	3.92
15 障がいのある人の就労支援などの福祉サービス	2.94	3.74
16 生活支援などに関する相談体制	2.90	3.55

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
17 農業の育成や支援などの取組み	2.93	3.39
18 日常の買物の便利さ	3.34	4.13
19 商工業の育成や支援などの取組み	2.88	3.38
20 魅力ある観光事業の展開	2.81	3.33
21 駅周辺環境整備	2.61	4.03
22 鉄道をはじめとする公共交通の整備	3.17	4.08

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
23 自然環境を守る意識や取組み	3.04	3.75
24 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.08	4.07
25 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.29	3.96
26 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.22	3.87
27 歴史のまちなみ	3.16	3.46
28 自然などの景観	3.12	3.61
29 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.73	3.65
30 身近な公園や子どもの遊び場の整備	2.77	3.86
31 下水道の整備	3.24	3.92

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
32 便利で快適な生活道路の整備	2.47	4.15
33 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.40	4.09
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53	4.15
35 他の市につながる幹線道路の整備	2.67	3.79

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
36 公共施設等の耐震化の取組み	3.00	3.96
37 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.99	4.01
38 大雨や台風による浸水対策の取組み	3.03	4.05
39 防火・消防や救急体制の整備	3.08	4.04
40 良質な水道水の安定供給	3.04	4.23
41 交通安全や防犯対策の取組み	2.93	4.03
42 消費生活に関する相談体制	2.92	3.48

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
43 市街地開発による良質な住宅の供給	2.97	3.50
44 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.91	3.52
45 向日丘陵などの竹林や緑地の保全	3.18	3.65

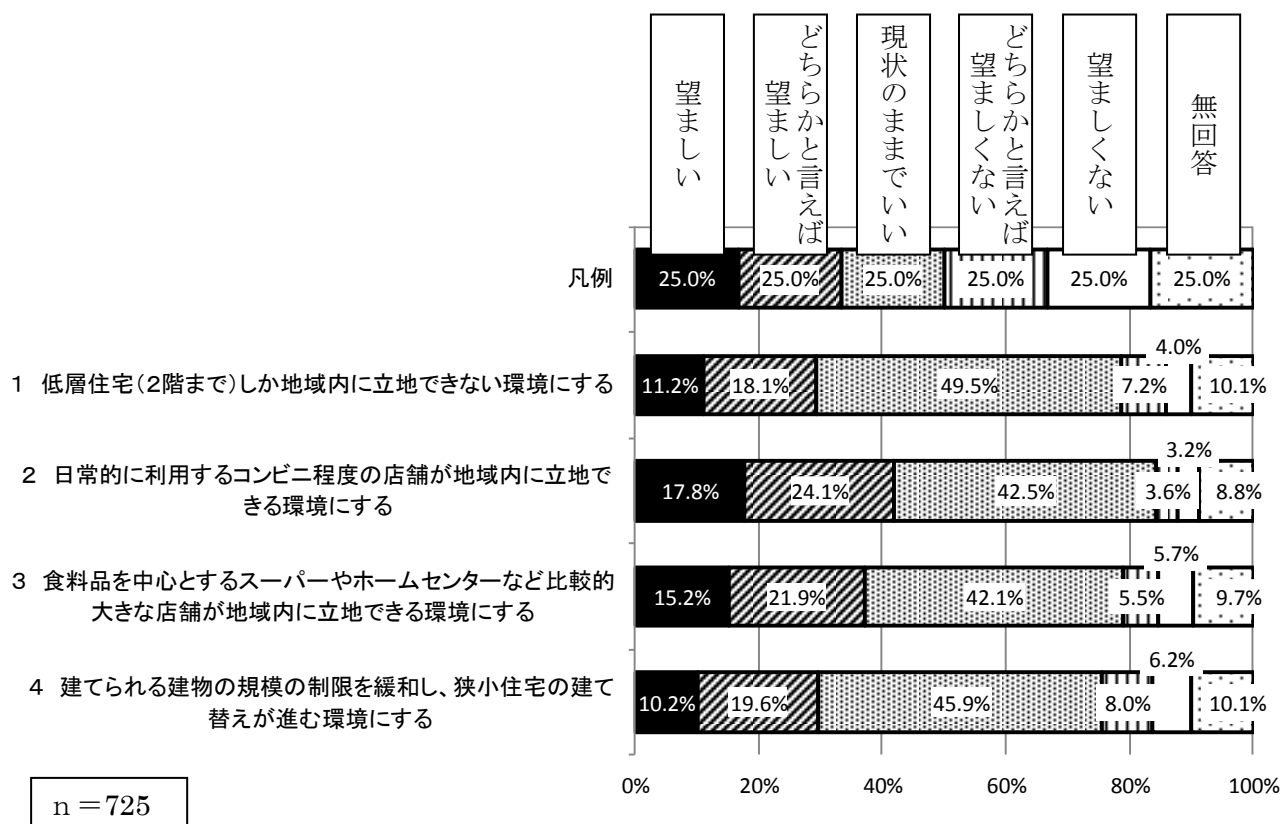
■情報発信全般に関わること

	満足度	重要度
46 広報紙「広報むこう」の発行	3.40	3.47
47 広報板の設置	3.03	3.15
48 ホームページ	3.01	3.27
49 facebookページ	2.91	2.88
50 LINE@	2.92	2.88
51 ひまわりチャイムの吹鳴(毎夕方6時)	3.29	3.34

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
52 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	3.01	3.28
53 市民同士の交流やつながり	2.89	3.30
54 市民と行政の協働のまちづくり	2.86	3.43
55 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.84	3.56

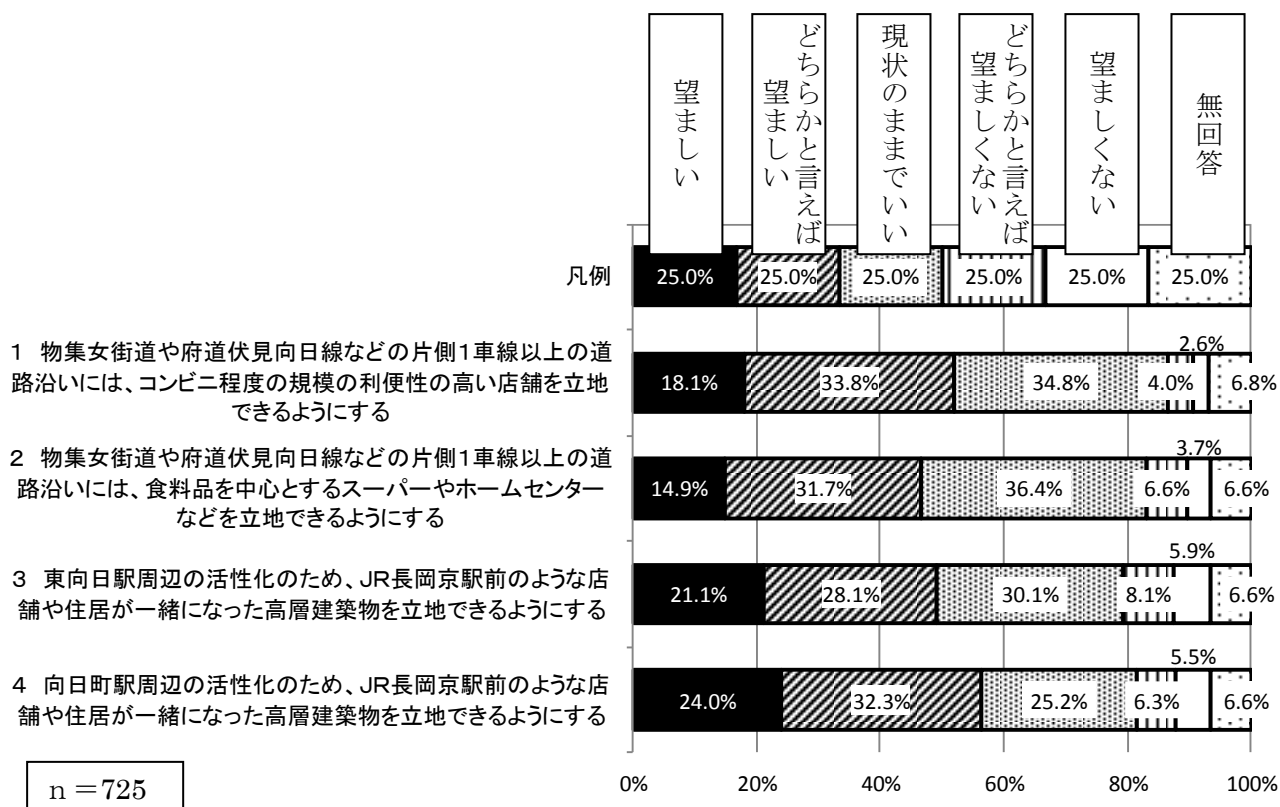
問15 お住いの地域（^{こあざ}小字）の土地利用についてお聞きします。地域の住環境としてどのようなことを望まれますか。項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【「コンビニ程度の店舗が立地できる環境」を望む回答が比較的多い】

○「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「日常的に利用するコンビニ程度の店舗が地域内に立地できる環境にする」(41.9%)が4割を超える回答を集めています。

問16 まちの賑わいを創出するための土地利用について、どのようなことを望まれますか。
項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【駅周辺の活性化では「向日町駅」を望む回答が多い】

○幹線道路沿いの土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「コンビニ程度の規模の利便性の高い店舗を立地できるようにする」(51.9%)が5割を超える回答を集めています。

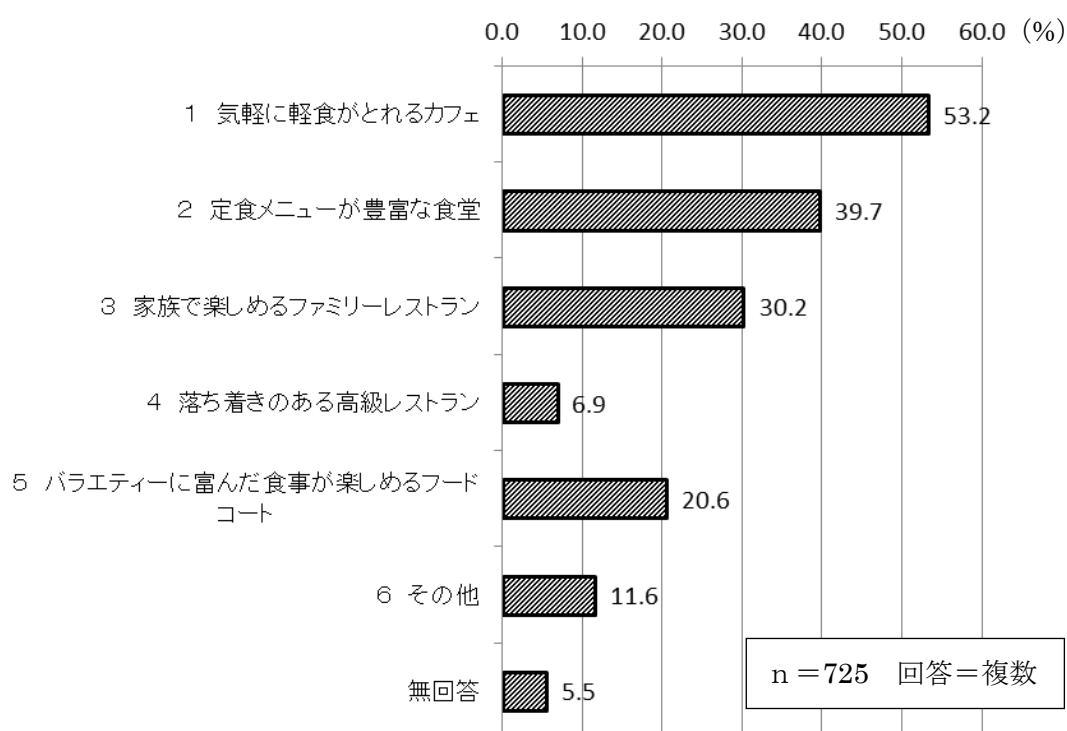
○駅周辺の土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「向日町駅周辺の活性化のため、JR長岡京駅前のような店舗や住居が一緒になった高層建築物を立地できるようにする」(56.3%)が5割を超える回答を集めています。

市では、市役所を建て替える事業を進めており、新庁舎の5階にはどなたでも利用できるレストランを計画しています。

そこで、「新庁舎展望レストラン」について、ご意見をお聞かせください。

問17 新庁舎展望レストランに期待する運営形態について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 気軽に軽食がとれるカフェ
- 2 定食メニューが豊富な食堂
- 3 家族で楽しめるファミリーレストラン
- 4 落ち着いた高級レストラン
- 5 バリエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート
- 6 その他 ()



【気軽に軽食がとれるカフェ、定食メニューに多くの回答】

○期待する運営形態については、「気軽に軽食がとれるカフェ」を選択する回答者が多く、53.2%に達しています。

○「定食メニューが豊富な食堂」(39.7%)なども、多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 66.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 55.6%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 44.4%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 59.2%	定食メニューが豊富な食堂 38.8%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 26.5%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 38.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 35.6%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 48.3%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 31.7%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	定食メニューが豊富な食堂 45.6%	気軽に軽食がとれるカフェ 44.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 28.2%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 27.5%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 57.6%	定食メニューが豊富な食堂 35.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 30.2%

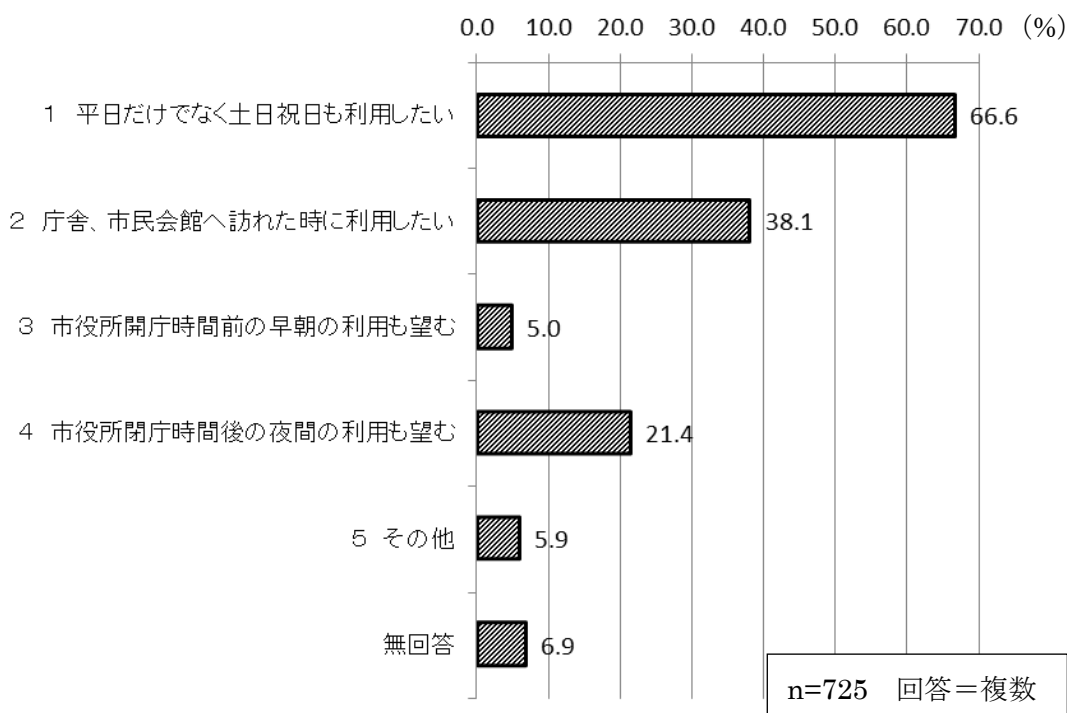
	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	気軽に軽食がとれるカフェ 46.8%	定食メニューが豊富な食堂 33.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 32.3%

【各年代とも上位項目は同様の傾向】

- 年代別にみると、50 歳代を除くすべての年代で「気軽に軽食がとれるカフェ」が第1位、50 歳代は「定食メニューが豊富な食堂」が第1位となっています。
- 「定食メニューが豊富な食堂」が10 歳代、50 歳代を除くすべての年代で第2位。50 歳代は「気軽に軽食がとれるカフェ」、10 歳代は「家族で楽しめるファミリーレストラン」が第2位となっています。

問 18 新庁舎展望レストランに望む営業時間について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 平日だけでなく土日祝日も利用したい
- 2 庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい
- 3 市役所開庁時間前の早朝の利用も望む
- 4 市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む
- 5 その他 ()



【平日だけでなく土日祝日も利用したいに多くの回答】

○上位の回答としては、「平日だけでなく土日祝日も利用したい」(66.6%)が第1位で、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」(38.1%)、「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」(21.4%)となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 55.6%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 44.4%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 11.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 61.2%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 36.7%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 16.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 83.3%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 35.6%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 65.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 28.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 22.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 71.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 26.2%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 70.0%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 43.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 27.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 50.0%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 37.1%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 12.9%

【全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位】

○年代別にみると、全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」が第 2 位となっており、これに続く「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」が第 3 位となっております。

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、観光、情報発信・PR（１１件）

テーマ	意見例
歴史・文化 観光 情報発信・PR	・竹の径などの整備及び観光PR ・お土産の開発 ・海外向けのPR

等

○産業の活性化（１６件）

テーマ	意見例
産業の活性化	・企業誘致 ・飲食店の充実 ・新庁舎のレストラン活用 ・高齢者買い物環境向上 ・上植野周辺の商業活性化 ・駅前活性化 ・農産物・特産物のPR

等

○都市基盤の整備（１２２件）

テーマ	意見例
道路整備 駅周辺整備 公園・グラウンド・ 広場等整備 住宅	・物集女街道の整備 ・歩道や自転車レーンの整備 ・坂道が多い ・休憩場所の充実 ・電柱地中化 ・駅周辺整備 ・子どもがのびのび遊べる公園整備 ・緑あふれる街並み ・歩きタバコの禁止 ・空家対策

等

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（９件）

テーマ	意見例
結婚 妊娠・出産 保育	・ 出会いの場づくり ・ 保育サービスの充実 ・ 子育て支援センターの充実 等

○健康・福祉（２３件）

テーマ	意見例
健康・医療 高齢者 障がいのある人 地域福祉	・ 高齢者の集える場づくり ・ 高齢者の乗り物割引 ・ 就労支援の充実 ・ 健康づくり ・ ゆめパレアの料金見直し ・ 救護施設問題の解決 ・ １８歳までの医療費無料化 等

○環境・資源循環（３７件）

テーマ	意見例
廃棄物 自然環境 生活環境	・ ごみ回収について（回数増加、時間延長、ルール徹底） ・ 自然保全 ・ 野良猫増加 等

○防災・消防救急・防犯・交通安全、公共交通（４６件）

テーマ	意見例
防災 消防救急 防犯 交通安全 公共交通	・ 水害対策の強化 ・ 情報伝達の強化 ・ 街灯の設置 ・ 防犯カメラの設置 ・ アレルギー対応の防災食 ・ 歩行者・自転車・自動車の安全 ・ コミュニティバスの路線延長 等

○上下水道（１２件）

テーマ	意見例
上水道 下水道	・ 水道料金の見直し ・ 水道水の水質改善（味、におい） 等

○学校教育・生涯学習・スポーツ（１５件）

テーマ	意見例
教育環境 生涯学習 スポーツ	・ ＩＣＴ機器導入 ・ 自習できるスペース ・ 通学路の安全 ・ 楽器練習可能な防音室や野球ができるグラウンド 等

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１２件）

テーマ	意見例
コミュニティ 市民参画	・コミュニケーション活動の拠点づくり ・ご近所付き合いの活性化 ・自治会の活性化 等

○行財政運営、議会（３３件）

テーマ	意見例
行財政運営 議会	・市役所本館・東向日別館の利便性向上 ・開庁時間の延長 ・適正な税金の使い方 ・職員研修の充実 等

●その他（２４件）

テーマ	意見例
その他	・小さくとも活気のある元気なまちづくり ・次の世代が住みたいと思うまちづくり ・時代に合った施策 ・競輪場の有効活用 等

【都市基盤に多くの意見】

○回収した全アンケート 725 件に対し、360 件（49.7%）で自由意見欄への記載があり、特に都市基盤の整備（122 件）へ多くの意見が寄せられました。

向日市のまちづくりに関する市民アンケート結果報告

発行／令和２年３月

向日市

〒６１７－８６６５ 京都府向日市寺戸町中野２０

TEL：０７５－９３１－１１１１（代） FAX：０７５－９２２－６５８７

E-mail：kikakukoho@city.muko.lg.jp
